

ウクライナ避難民の皆さんの コミュニティづくりが始まっています！

2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻から約1年半。兵庫県には100人を超えるウクライナの方々が避難しています。HIAでは、ウクライナ避難民の皆さんが安心して生活できるようコミュニティづくりをお手伝いするとともに、兵庫の良さを知ってもらうため、「ウクライナ人コミュニティ形成促進事業」を実施しています。

8月9日には、有馬温泉観光協会の協力を得て、街歩きや温泉入浴、芸妓さんの踊りを楽しみながらの食事を体験できる有馬温泉ツアーをNPO法人多言語センターFACILの企画で実施。30人を超える避難民とその家族が参加し、母国ウクライナへの思いを胸にそれぞれが語らい、交流を深めました。また、有馬でのおもてなしに感激しつつ、兵庫を感じる楽しいひとときを過ごしました。



有馬の街歩き



有馬親水広場で食事をしながら語らい

交流について考えよう！

ひょうご国際プラザ所蔵の書籍から「交流」に関連する本を紹介します。



ことばとふたり

(ジョン・エガート / きたむらさとし・やく / 岩波書店)

ことばを知らないいきものと
ことばを知ってるいきもの。
最初に伝わったのは？
ことばがあってもなくてもわかりあえる。



世界の食卓から社会が見える

(岡根谷実里著 / 大和書房)

世界の家庭に滞在させてもらいながら、
一緒に料理をする。
美味しい料理を通して、
その向こう側にある社会科も学ぶ。



ライラックどおりのおひるごはん —みんなでたべたいせかいのレシピ—

(フェリシタ・サラ作 / 石津ちひろ訳 / BL出版)

くんくん、なんかいいにおい。
いろんな国の料理があるみたい。
いつでもみんなだいかなげいですって！
お皿を持って、さあ行こう。



エイモスさんがかぜをひくと

(フィリップ・C・ステッド文 /
エリン・E・ステッド絵 / 青山南訳
/ 光村教育図書)

エイモスさんは、いつだって
ともだちのところにでかけます。
ある日、たずねてこない
エイモスさんをみんな心配して…。
やさしいおはなし。



ひょうご国際プラザ

ひょうご国際プラザでは、毎月
テーマを決めて特別コーナーを
設置しています。お楽しみに！



開館時間等の
詳細はこちら▲

青少年×国際交流

若い世代の交流で新しい時代へ



HIAは **青少年交流活動** を推進しています！

HIAでは「交流人口の拡大」と「人づくりへの貢献」を推進する事業の一つとして、青少年交流に力を入れています。今回は、4年ぶりに実施した「オックスブリッジ英語サマーキャンプ」と、対面での交流が増えつつある「学校交流事業」をご紹介します。※当該事業については、HIA企画広報課までお問い合わせください。

4年ぶりの オックスブリッジ英語 サマーキャンプ開催！

オックスブリッジ英語サマーキャンプは、イギリスのオックスフォード大学とケンブリッジ大学の学生を兵庫県内の学校などに派遣し、英会話の授業や交流イベントなど、国際交流を行うプログラムです。本年度はオックスフォード大学からウィルフさん、ケンブリッジ大学からオリバーさんをお迎えしました。

7月20日には二人のウェルカムパーティーを開催。学生を受け入れる県内の大学や団体、ホストファミリーなどの関係者が参加し、4年ぶりに開催できた喜びをかみしめました。オックスブリッジ学生と参加者は夏らしく浴衣を着用。皆で盆踊りを踊ったり、歓談をしたり、楽しいひと時を過ごしました。

二人は期間中、神戸女子大学、神戸大学附属中等教育学校、関西福祉大学、JETS Academy、宝塚市国際交流協会などで英語の授業や文化紹介、交流イベントを実施しました。イギリス文化や王室についての授業、クイズ形式でのアクティビティ、一緒に焼きそば作りをするなど充実した1カ月を過ごしました。

HIA
ホストファミリーの皆さん

オックスブリッジの学生を温かく迎え入れてくださいました！



檜原さん

ウィルフさんの大学での専攻(量子力学)についての話で盛り上がりました。神戸女子大学主催のJAZZライブにも彼が誘ってくれ、大変楽しかったです。

奥内さん

ウィルフさんは日本の近代建築やアニメに詳しく、たくさん話しました。私たち以上に詳しい部分もあり、大変驚きました。

宮野さん

BBQ、温泉、買い物などを一緒に楽しみました。明るく積極的なオリバーさんととても良い時間を過ごすことができました。



ウェルカムパーティーでは浴衣を着用

神戸女子大学



ペアワークの様子

神戸大学附属中等教育学校



イギリス王室についての授業

関西福祉大学



みんなで焼きそば作り

乾杯！



ポストコロナ時代の学校交流



コロナ禍を乗り越え、学校交流にも明るい兆しが見えてきました。2月、3年ぶりに台湾の高校生を迎えて、コロナ禍後初となる対面での学校交流が実施されました。そして、5月には台湾2校、インド、マレーシア各1校の対面での学校交流が続き、さまざまな国や地域から教育旅行の団体が兵庫県を訪れています。

オンラインツールを活用した交流では、これまでの台湾、韓国、マレーシア、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドに加え、今後はカナダ、フランスといった新たな国との交流も計画しています。

また、オンラインで友好関係が深まり、対面交流へつながる学校も増えています。今後は、こうした対面交流と、オンライン交流を融合させたハイブリッド型の学校交流が主流となるでしょう。これからも、交流を通じて国際社会へ向けての学びが広がり深まっていくことが期待されています。

今回はインドとマレーシアの学校との交流の様子をご紹介します

※2日間の交流の様子を1日にまとめています

インド

08:00

学校到着



ドキドキしながらホスト生徒と対面

09:00

校内ツアー



歓迎横断幕の前で記念撮影

09:40

授業体験(英語理解)



インドについてプレゼンをしました

10:40

授業体験(世界史)



「インドの歴史」についてグループワーク

11:40

「袴・浴衣」と「茶道」体験



日本らしさを感じることができました

12:30

昼食



校内食堂で一緒に「いただきます！」

13:15

「書道」体験



毛筆を使って自分の名前を書きました

14:15

授業体験(発達と保育)



赤ちゃんの沐浴体験。赤ちゃんへの接し方も学びました

16:10

掃除体験



皆で協力して渡り廊下をきれいに

マレーシア



日本で生まれた世界初のエコバッグ「風呂敷」を使って、日本の「包む文化」に触れてもらいました。

さあ、上手にできるかな？



グループに分かれ、英語で包み方をレクチャー

無事完成！



日本の生徒のサポートのおかげで包めました

多文化共生の窓

阪神地域で実施した外国人県民向けの日本語教室と、本年度の『多文化共生』を考える研修会』について紹介します。

さんだ ぐらしのにほんご教室 地域で楽しく学び、できることを増やそう

HIAでは、兵庫で暮らす外国人県民の皆さんが必要な日本語能力を身近な生活圏で身に付けられるよう、2019年度から地域における日本語教育の体制づくりを進めています。その一環として各地域でモデル事業を展開。阪神地域では、昨年度から、三田市と三田市国際交流協会(SIA)の三者で話し合いを重ねながら事業に取り組んできました。

今回ご紹介するのは、開講2年目の「さんだ ぐらしのにほんご教室」。日本語教師と地域の学習支援者が協働する新しいクラス形式で、一体感のあるクラス活動と、きめ細やかなペアワークが特長です。参加者は、買い物、ごみの分別、防災、病院、役所など身近な生活場面をテーマに、学んだ日本語を駆使して、伝え合ったり、聞き合ったり、スマホで情報を探したりしながら、「できた!」を積み重ねています。

参加者は出身地も来日の背景もさまざま、日本語のレベルも幅広く、多様です。教師一人で全てに対応するのは難しいですが、SIAの経験豊富な学習支援者がペアやグループでの活動に加わり、対話を通してサポートすることで、誰一人取り残すことなく、それぞれが自分に合ったゴールを目指せる場になっています。

SIAには、ボランティアの方々が長年マンツーマンで学習支援をしている「日本語サロン」も。二つの活動が、それぞれの特性を生かして外国人市民と地域社会をつないでいます。



まずは
クラス全体で
テーマを確認



ハザードマップを前に
「避難場所はどこ?」
同じ地域の住民として
教え合い、学び合う



「あなたの国では?」
クラスの共通語である
日本語で互いのことを
聞き合う



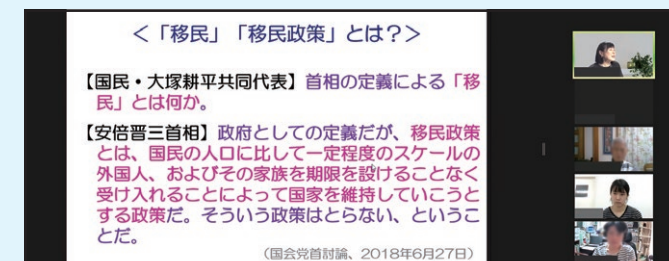
実物を持ち寄り、
チームでごみの分別に
挑戦

違いを認め合い互いに尊重し合う 多文化共生社会の実現に向けて

兵庫県には、155カ国、約12万人の外国人県民が住んでおり、さまざまな場面で接する機会も増えています。そのような中、外国人県民の現状や課題などについて理解を深め、全ての人々が安全に安心して生活できる多文化共生社会の実現を推進していくため、NPOなどとの協働により『多文化共生』を考える研修会2023を開催しました。

8月16日から25日までに4回、多彩な講師を迎え、多様なテーマで実施。延べ321人が参加し、文化や言語、生活習慣の違いを認め合い、互いに尊重し合う多文化共生社会の重要性を学びました。

8月16日(水)	第1回「総論～「移民国家」日本の現実～」
18日(金)	第2回「海外から学ぶ～多文化を包摂する試み～」
22日(火)	第3回「教育～外国ルーツの子どもの支えるために～」
25日(金)	第4回「当事者の力～多様な背景を持つ人の活躍～」



ひょうご国際交流団体連絡協議会 活動紹介

ひょうご国際交流団体連絡協議会総会が開催されました

5月24日、国際健康開発センターで、2023年度ひょうご国際交流団体連絡協議会総会が開催されました。早金孝会長のあいさつで始まり、議案審議の後、本県の草の根国際交流活動に尽力された個人・団体に贈られる「草の根国際功労賞」受賞者の表彰式が行われました。本年度は5個人・2団体が受賞されました。※1人は都合により表彰式を欠席のため推薦団体からの代理出席

＼「草の根国際功労賞」受賞者の皆さん／



石井 健二郎 様
(淡路市国際交流協会推薦)

青少年派遣相互交流事業等で積極的に活動するほか、国際交流協会会長としても活躍され、海外との友好の架け橋としてご尽力されました。

赤松 悦子 様
奥田 久美 様
(((公財)加古川市国際交流協会推薦)

10年以上という長きにわたり、日本語講座で指導し、日本語学習支援に大いに貢献してこられました。

こうべ子どもにこにこ会 様
(((公財)兵庫県国際交流協会推薦)

日本語・母語教室を通じて、20年以上にわたり在住外国人児童生徒が自分自身に誇りを持てる環境づくりを目指して活動を続けてこられました。

中村 一見 様
(((特非)小野市国際交流協会推薦)

地域の在住外国人に対し和楽器・作法を指導し、日本文化の素晴らしさを伝えてこられました。

兵庫県立
三木高等学校 様
(三木市国際交流協会推薦)

海外の学校との交流をはじめ、地域での外国人との交流など校内にとどまらない活動を進めてこられました。

池田 和代 様
(丹波市国際交流協会推薦)

日本語教室で支援員として活動されるほか、生活支援にも力を注ぎ、良き居場所づくりに貢献してこられました。

ウクライナを知る一歩として講演会を開催

兵庫県内でも多数の避難民を受け入れていることからウクライナという国に注目が集まる中、ウクライナ出身で神戸学院大学経済学部客員教授のナディア・ゴラル氏による講演会を、5月24日、総会に併せて実施しました。

「通貨」を切り口に歴史と文化についてお話しいただき、ウクライナを知る一歩として良い機会となりました。



講演の様子

新任職員等基礎研修をオンラインで実施

6月21日、県内市町国際交流協会・行政関連部署の新任職員や経験の浅い職員を対象に、オンラインで新任職員等基礎研修を実施しました。

NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事の麻田友子氏を講師に迎え、「チャレンジ!多文化共生～多様性を活かす地域へ～」と題して、多文化共生が必要とされる背景等について講義していただきました。「多文化共生というのは、外国人支援というよりも外国人と共に歩むという言葉が印象的でした。」



在留外国人数は全国で300万人を超えました。



グループワークの様子

令和5年度兵庫EUセミナー 「駐日スウェーデン大使講演会」

6月22日にパールエリック・ヘーグベリ駐日スウェーデン大使をお招きし、神戸市北野町にある神戸倶楽部で本年度の兵庫EUセミナーを開催しました。当日はあいにくの雨天にもかかわらず62人が参加しました。

前半は、大使が「スウェーデンの現状を学ぶ」というテーマでスウェーデンの文化、歴史、持続可能な環境対策、子育て政策についてご講演いただき、参加者からの質問にも回答いただきました。

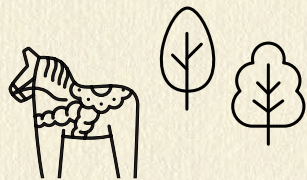
後半は、スウェーデン料理を味わいながら、大使を囲みでの交流会。北欧伝統音楽グループ「Spruket Krus&LUFT」による演奏も楽しみました。



Spruket Krus&LUFTの3人による演奏会



スウェーデン料理



駐日スウェーデン大使の講演



会場の様子

参加者からは「スウェーデン社会について知り、視野が広がった」「スウェーデンの歴史や現状、これからのことを知ることができてよかった」「伝統的な食事も含めて楽しむことができた」等の声が数多く寄せられました。

海外事務所だより

HIAが運営する3つの海外事務所

兵庫県の海外事務所を3カ所運営。経済交流や観光PRを中心に、文化・教育など多彩な交流活動を行っています。



Japan Fairで観光PR



兵庫の酒と観光のPR

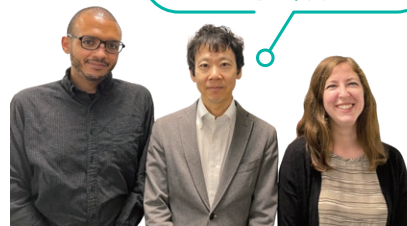


香港最大級BtoCイベントにブース出展

【新所長紹介】

●兵庫県ワシントン州事務所

兵庫県ワシントン州事務所の池上です。大阪・関西万博を控え、より多くの方に兵庫県を訪ねいただくこと等を目指し、アメリカ等との交流促進に取り組みます。



兵庫県ワシントン州事務所所長
池上卓久

●兵庫県パリ事務所

4月に着任しました東です。今、再び国際交流が活発化しています。欧州から中東やアフリカにもネットワークを広げ、兵庫県との交流促進に取り組みます。



兵庫県パリ事務所所長
東信隆

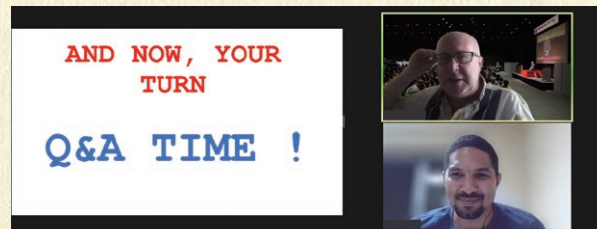
漫画「名探偵コナン」を題材に 「国際交流サロン」を開催

6月24日、大学コンソーシアムひょうご神戸との共催で、「令和5年度第1回国際交流サロン」をオンラインで開催しました。シリル・コピーニさん



今回は、フランス人の落語家で、翻訳家・言語学者でもあるシリル・コピーニ氏をお招きし、「“MANGA”「名探偵コナン」フランス語翻訳者と異文化理解の謎を解け!」と題して講演していただきました。

講演では、日本語に興味を持ったきっかけや落語との出会い、そして漫画翻訳に至った経緯など、興味深い経験談を聞くことができました。質疑応答の時間には、フランスにおける漫画事情や漫画翻訳についての質問が数多く寄せられ、参加者が異なる文化や言語の理解に強い関心を持っていることがうかがえました。



質疑応答の様子

Welcome our new CIR! 新しい国際交流員が着任しました



李霞さん

ニーハオ! (你好!)
(こんにちは)

4月から中国の国際交流員として勤務している李霞と申します。

大学3年生の時に東京に1年間留学したことがあり、今回が2回目の日本での生活です。関西で暮らすのは初めてなので、毎日新しいことに出会い、ワクワクしています。

私は兵庫県の友好都市・広東省出身で、卵餃子が有名な客家出身でもありますので、ぜひ皆さんに中国の文化や魅力を伝えたいです。

これから県内をたくさん巡り、兵庫県の魅力を発見して多くの人々に発信したいです。そして、日中両国の架け橋となり、両国間のさらなる緊密な関係と交流促進に貢献できるよう頑張ります。兵庫県の皆さまには、ひょうご国際交流キャラバンプロジェクトでお会いできるのを楽しみにしています!



客家料理のひとつとして有名な「卵餃子」
薄焼き卵で包むのがポイント!

Pick UP!

ひょうご 国際交流キャラバンプロジェクト

「国際交流 IN HARIMA」に国際交流員4人が参加

5月28日に播磨町中央公民館で行われた播磨町国際交流協会主催の交流イベント「国際交流 IN HARIMA」に、兵庫県の国際交流員4人が参加しました。それぞれの出身国であるアメリカ、中国、韓国、オーストラリアの紹介や、中国で大流行中の「広場ダンス」と韓国の伝統仮面劇「タルチュム」を披露。参加者も一緒に広場ダンスを踊り、大盛り上がりでした。

その他にも、播磨町のALTの皆さんによるジンバブエ、インド、フィリピン、アメリカの国紹介、在住外国人の皆さんによるバンド演奏や自己紹介、高校生の吹奏楽パフォーマンスなどが行われ、12カ国101人が参加した国際交流イベントとなりました。参加した住民からは「伝統文化について知ることができてよかった」「参加型のイベントで、みんなでダンスを踊って楽しかった」などの声がありました。

ひょうご国際交流キャラバンプロジェクトとは?

ひょうご国際交流団体連絡協議会の構成団体からの要望があれば、兵庫県の国際交流員(CIR)が県内各地と一緒にイベントを行います。多くの県民の皆さんに異文化に触れてもらうことを目的としていますので、ぜひご活用ください。

詳細はこちらから

<https://www.hyogo-ip.or.jp/hcia/csr.html>



韓国の伝統仮面劇「タルチュム」



播磨町の皆さんと